

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（12月）

留学先：東亜大学校

氏名：福島亜矢子

【はじめに】

12月に入り、韓国の冬の寒さに改めて驚いています。釜山は思ったよりもかなり乾燥していることと、海があるからか風が強いこともあって、歩いていると顔や耳が痛くなるほど寒いです…。（これでもソウルなどの北部よりも暖かいほうです）

今月の報告書では、学部授業に期末試験や留学生対象に開かれたテコンドー講座、12月の釜山の様子について報告します。

【語学堂最後の学期開始】

いよいよ語学堂最後の学期が始まりました。今学期は中級2のクラスです。私のクラスには中国・台湾・ベトナム・ドイツそして日本出身の学生が集まっています。学期が始まって2週間ほどになりますが、中級2にもなると、韓国語でだいたいのコミュニケーションがとれるため、今までのクラスより打ち解けるのが早いように感じます。授業の内容に大きな変化はありませんが、これまでと比べて報告書や文章を書く際に用いる文法が増えたように思います。

【学部授業の期末試験】

11月末に一足早く、学部授業の期末試験がありました。私は声楽の授業（レッスン）を受けていたため、実技試験を受けました。あらかじめ練習していたドイツ語とフランス語の歌曲3つの中から当日朝に抽選した1曲と、オペラアリアと呼ばれるものを1曲の計2曲を歌いました。約半年ぶりの実技試験ということで、思ったよりも緊張したのですが、審査された先生方が大変褒めて下さったので、これまで頑張ってきた甲斐があったと思いました。大学の授業として声楽を学んだのは3ヶ月ほどでしたが、韓国は世界的にも有名な声楽家を多く輩出している国なので、そんな韓国で声楽を勉強できたことは大変貴重な経験でした。特に韓国語は日本語に比べて母音と子音の数が多いので、曲で用いられるドイツ語やイタリア語等の発音に関して大変勉強になりました。

【テコンドーに挑戦】

韓国のスポーツと言えば「テコンドー」が有名だと思います。今年の夏に行われたオリンピックのテコンドー競技で東亜大学校の学生が銅メダルを獲得したこともあり、東亜大学校の留学生を対象にした全10回のテコンドー講座がありました。当初は受講しようか悩んだのですが、せっかくの機会なので受講することにしました。実際に道着を着て、基礎

的な動作や技、型をやってみて、上手く出来ないことも多かったですが、とても楽しく、週に1度の良い運動になりました！



【釜山もクリスマス一色に】

もうすぐクリスマスということで釜山もクリスマス一色になっています。繁華街である南浦洞では「釜山クリスマス文化祭り」が開かれており、メイン通りはイルミネーションで彩られ、中間地点には大きなクリスマスツリーが飾られています。週末になると合唱などのイベントも行われ、多くの人々で賑わっています。また、韓国はキリスト教を信仰している人が多いため、街中に教会がたくさんあります。クリスマスということで教会も綺麗にイルミネーションで飾られていて、日本（特に福井）とは違うクリスマスの雰囲気になっています。



【おわりに】

帰国まで2ヶ月を切りました。新年を迎えるとすぐに中間考査があり、修了式まであっという間に過ぎていくのだらうと思います。残り短い時間だからこそ、1日1日を大切に過ごしていきたいです。ではまた、来月の報告書で。